

第22回 生きた学校図書館を めざして



学校図書館のつどい

講演 学校司書の養成と研修

野口武悟 専修大学教授、本会会長

学校司書の研修に関する事例報告 グループワーク

2017年 10月 29日 (日)

13:15～16:45 (受付13:00～)

プログラム

開会 13:15
講演 13:20
事例報告 14:15
グループワーク 15:25
閉会 16:45

場 所

武蔵野プレイス 4階 フォーラムAB
JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口
下車徒歩 1分(裏面に地図)

参加費

一般 800円 学生 500円(30歳まで。学生証提示)
当日受付にて

申込み

Fax 03-3992-0362 または
HP <https://www.jaschonken.com/> から

問合せ

電話 03-3994-3961(日本子どもの本研究会事務所)

【講演要旨】

本講演では、学校司書の養成と研修をめぐる動向について事例をまじえつつ紹介する。2016年11月に文部科学省により「学校司書のモデルカリキュラム」が通知され、2017年度より大学における学校司書の養成がスタートした。しかし、科目を履修しても「資格」が取得できるわけではなく「履修証明」を得るにとどまるなど、養成上の課題は少なくない。一方、現職の学校司書については研修が重要になるが、自治体によって研修の頻度や内容などにばらつきが大きく、実りある研修をどう実現していくのが喫緊の課題である。

【学校司書の研修に関する事例報告】 杉並区・袖ヶ浦市・八王子市

【グループワーク】

「私たちがめざす学校司書研修の年間プログラムを作ろう！」

【講師】 野口 武悟

専修大学文学部・大学院法学研究科教授、一般社団法人日本子どもの本研究会会長。

ほかに、放送大学客員教授、文部科学省子供の読書活動推進に関する有識者会議委員、小田原市、守谷市、十日町市の図書館協議会副委員長なども務める。

専門は図書館情報学(学校図書館、障害者サービスなど)。近著に『改訂新版 学校経営と学校図書館』(共編著、放送大学教育振興会、2017年)、『図書館のアクセシビリティ』(共編著、樹村房、2016年)、『多様性と出会う学校図書館』(共編著、読書工房、2015年)など。

【事例報告】

杉並区:前田千草(杉並区立中学校 学校司書・会員)

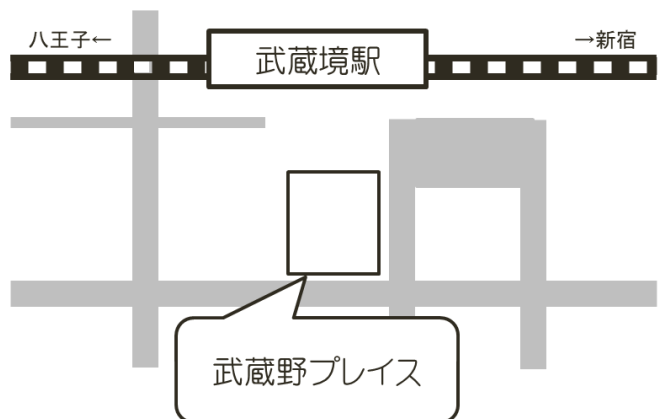
袖ヶ浦市:中村伸子(元 袖ヶ浦市学校図書館支援センタースタッフ・会員)

八王子市:大橋道代(八王子市学校図書館サポートセンター専門員・会員)

【グループワークコーディネーター】 鎌田 和宏

帝京大学教育学部教授。研究分野は教育方法(情報リテラシー教育・授業研究)、社会科教育。学校図書館を活用した授業の授業研究に取り組んできた。著書に『小学生の情報リテラシー～教室・学校図書館をつないで～』(2007年、少年写真新聞社)『入門 情報リテラシーを育てる授業づくり～教室・学校図書館・ネット空間を結んで～』(2016年、少年写真新聞社)、編著書に『先生と司書が選んだ調べるための本:小学校社会科で活用できる学校図書館コレクション』(2008年、少年写真新聞社)、『改訂新版 学習指導と学校図書館』(2016年、放送大学教育振興会)等がある。本会理事。

会場案内図



「第22回学校図書館のつどい」参加申込書Fax送信用

以下にご記入の上、Fax 03-3992-0362 へ送信してください。

くれぐれも送信面をお間違えのないようお願いいたします。

お名前 (ふりがな)

ご住所 〒

電話番号

所属
